

しんあい

季刊

2009年(平成21年)1月5日発行 第68号 ◆編集と発行 しんあい編集部

社会福祉法人
多摩同胞会

〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10

TEL 042-367-8801

多摩同胞会のホームページでは、
ブログを毎日更新しています。

<http://www.tama-dhk.or.jp/>
をぜひご覧下さい



介護に関するご相談は無料ダイヤルで！

- 泉苑在宅介護支援センター

 **0120-6540-24**
老後支援 24 時間

- あさひ苑在宅介護支援センター

 **0120-2942-24**
福祉にっこり 24 時間

- スウェーデンからの宿題
- 介護保険を考える28(総集編No2)
- 仕事と子育ての両立を
応援しています
- 施設だより「年忘れ・事始め」



スウェーデンからの宿題



SW交換研修から学び活かしていこう

あさひ苑介護員 福井 亜希子（平成16年度研修生）

あさひ苑がこの交換研修に参加したのは第1回目の平成16年と翌年の17年になります。

法人初の現場職員の体験交換研修、それも福祉先進国と言われているスウェーデン。文化も環境も異なるこの国から、学び、活かしてきたことを報告します。

まず第1は「環境作り」です。第1回目の研修生の言葉に、フロアに響くナースコールの音も環境のひとつと気付かされ、すぐにナースコールPHS化を進めました。結果、迅速なコール対応が可能となり、落ち着いたフロア環境の第1歩となりました。

また環境研究会や生活向上研究会、福祉機器研究会など、ご利用者を取り巻く様々な環境の検討の為に研究会を立ち上げました。その成果としてデイルームにソファやクッション・畳を入れて、ボランティアによるベランダの花の手入れを行い生活環境の充実を図っています。

第2に、「生活の中で食事はとても大切」というお話しを受け、ご利用者に落ち着いた雰囲気の中で食事を召し上げて頂けるよう、介助者も椅子に座って視線を合わせた食事介助を徹底してきました。ご飯もフロアごとで炊くようになり、食堂に広がる炊きたてのご飯やみそ汁の香りでご利用者の皆様には自然と笑顔があらわれ、会話ははずむようになりました。



美しい花が咲くベランダをのぞむ



平成20年10月より昼の見守り配食が始まりました。

スウェーデン交換研修を終えて

泉苑介護員 末柄 直子・滝 幸恵（平成20年度研修生）



アグネタさん、シャステンさんの歓迎会

スウェーデン「三つの財団」との交換研修も5回目となります。今回は「スウェーデンからの宿題」と題しまして、研修後の各施設の新たな取り組みや活動などを報告します。

この交換研修は私たち日本が、福祉の先進国といわれているスウェーデンから学ぶばかりが目的ではありません。スウェーデンからの研修生も日本のきめ細かな質の高いケア、入浴文化の素晴らしさなどを目の当たりにし、毎回いくつもの宿題を自国に持ち帰っています。

国は違えども、ご利用者を思う気持ちは同じです。それぞれが自分たちのケアに自信を持ち、それを高め合える、そんな研修になっと思っています。

今回の交換研修では、お互いの国の文化・制度や施設環境等多くの違いはあるものの、ご利用者に対する想いや考えに共通するものが多く、あらためて福祉というものを考えさせられました。職員の能力向上のための研修の重要性やリフト機器の使用、そしてご利用者の生活すべてがアクティビティであるという考えのもと、静かにゆっくりと流れる時間に大変驚かされました。お2人には、泉苑でのアクティビティ活動や入浴介助の様子などに大変興味を持っていただけました。意見交換会では、「職員同士よく話し合い少しでも問題解決していくこと」「介護技術を再確認し、ご利用者・職員お互いが負担にならない介護をしていくこと」とのご意見をいただきました。今回の研修での経験を活かし、一歩ずつ進んでいけたらと思います。

福祉機器の活用

かんだ連雀介護員 岡本 純子（平成19年度研修生）

スウェーデン交換研修後、連雀ではいくつかの取り組みを始めました。その中でも福祉用具の導入・アクティビティについて報告します。

スウェーデンではベッドからの移乗・トイレの排泄援助などはすべて福祉用具（リフト）を使っています。ご利用者が安全で快適に過ごすために必要不可欠なものとなっています。

スウェーデンで実際に体験し、吊り上げ式リフトは身体が持ち上がる際に安心して身を委ねる事ができました。立位用リフトは脚力の機能維持もできます。いずれも介護職員の身体負担の軽減にもつながります。

連雀でも導入したことでご利用者がベッド上での生活から車いすへ長く姿勢を維持できるようになりました。職員間でリフトの正しい使い方を共通認識に安楽な移乗の仕方を学び、双方にとってより良い移乗の仕方について研修が実施されるようになりました。

アクティビティというと、作業したり、身体を動かす…と考えてしましますが、スウェーデンでは日常の一つ一つがアクティビティであり、何かをするのではなく寄り添う援助も大切なアクティビティであると聞きました。又、ボランティアを受け入れ、ボランティアが主体になって音楽鑑賞会やゲームをしたりしています。

連雀でもボランティアを積極的に受け入れフロアに入り、職員だけでは出来ない寄り添いの一時が増えつつあります。折り紙をする、話を聞く、美味しいコーヒーを入れるなど、日常生活に馴染んだボランティアとの新しい関係を築いています。

他に、個別ケアやターミナルケアについてなど制度上の違いがあっても同じ職種として学びあう課題について今後のかんだ連雀として取り組んでいきたいと思っています。



リフトの活用

認知症という疾病の理解について

岩本町ほほえみプラザ相談員 磯谷 美奈（平成18年度研修生）

認知症高齢者に対する職員の教育プログラムについて学ぶことを研修のテーマとして2年前スウェーデンに行きました。そこで学んだことは、職員の倫理感、価値観によってケアは変わるということ。認知症という疾病に隠れたその人の人間性を見ていくためには職員が認知症について十分知識を持つていることが必要だということでした。三つの財団では、新任職員向けの認知症研修の他にも継続的に研修を行い、認知症という病気やその症状について繰り返し伝えていました。一度の説明では効果がなく、継続の大切さを感じました。

岩本町ほほえみプラザでは、昨年より施設内企画研修として認知症ケア研修が始まっています。まずは基礎編として、スウェーデンのバルブロー・ベック・フリス博士著「症状が重くなった方が、介護が楽になる」という本を読みレポートを提出してもらいました。これは介護職にとどまらず、利用者に関わるすべての職員（事務・食事係・看護）を対象に3か月かけました。現在でも異動してきた職員や新任職員が行っています。また、ステップアップ研修として、本を読んで実践で活かしたことや、日常のケアの中で感じていることなどを様々な部署の職員が集まってディスカッションする振り返り研修を、小笠原理事のご協力を得て、現在までに17名の職員が参加しています。手探りで始まった研修ですが、適切なケアをしたいという職員の思いもふくらみ、少し、前が見えてきたところでしょうか。



ティータイムもアクティビティ



を考える 28

No.2)

鈴木 恂子



2000 年 3 月は現場は混乱の渦中にありました。3 月 30 日になってなお特別養護老人ホームの食事代の変更があり、大混乱のなか、不安を残したままで、4 月の制度施行開始を迎えたことを思い出します。そして 5 月のゴールデンウィークに最初の介護保険請求が始まり、混乱はピークを迎えました。

高齢の方が利用者になる制度ですので、はじめて出会う要介護度、ケアマネジャー、ケアプランなどの新しい言葉、手続きの複雑さなどを、まずはご理解いただくことを一番にお伝えしていました。

を 考 え る

		留 意 点
て、名称や手続きなど	年 4 月～ 直接施設に申し込む(要介護 1 以上)	1 在宅で介護保険を利用する場合は、介護度によって利用できる上限額(支給限度額)が決まっていること。 2 介護支援専門員(ケアマネジャー)のいる居宅介護支援事業所と契約して介護サービス計画(ケアプラン)を立てること。 3 ケアプランに基づいてサービス提供事業所(通所介護、訪問介護など)と契約し、利用開始となること。 4 ケアプランは介護度ごとの支給限度額に収まれば一割の利用料負担となるが、超えた分は全額自己負担となること。
サービスごとに決められ れば、費用の 1 割の た部分については、保	ケアマネジャーのケア プランによりサービス提供事業 所と直接契約する	1 サービスを受ける場所で給付額が異なる(自宅か、グループホームか、有料老人ホームか、老人保健施設か、特別養護老人ホームか) 2 自宅の場合は、何のサービスを受けるか複数のサービスの組み合わせを計画する(居宅介護支援事業所のケアマネジャーがたてるケアプラン) 3 各事業所からどのような援助内容のサービスを受けるのか(サービス提供事業所内ケアマネジャーがたてるケアプラン)
定するための手続き ため)		保険制度であるため、複雑なしくみになっていること。そして全てが自己責任に基づく契約制度であるために、書類のやりとりが基本となり、認定から利用料の支払いに至るまで最低でも 30 枚の書類がいたりきたりする。
いう専門職は制度と利用 う 者福祉全般にかかわる		あるケアマネジャーの悩み 1 数十箇所の事業所にケアプランに基づくサービス提供票を毎月送付するが変更の手続きや実績確認がリアルタイムに求められるため、事業所との連絡に追われてしまうこと。 2 在宅での生活が困難でも、特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設の数不足していて、希望にそった施設や病院を探すことが困難なこと。
要介護 4 30.60 万 26.00 万 28.28 万 40.48 万	要介護 5 35.83 万 26.58 万 29.62 万 41.88 万	保険給付の根拠は、要介護度が基準となり、在宅の場合にはサービスの量が左右されるので、認定審査会は真剣な議論の上で決定する。しかし、2000 年度の在宅サービスの利用状況は全国平均で上限額の 43%という結果が報告されている。しかもどこで介護保険を利用するかという本人の居場所により給付額に差がある。 



介護保険制度 （総集編）

前回に続き、総集編 No.2 になります。今回は 2000 年 3 月から 2001 年 7 月までをまとめました。

1997 年 12 月に介護保険法は成立しましたが、具体的なことは何もはっきりしないままに、「走りながら考える」といわれてきました。そのため現場にいて知りうる情報をもとに、この紙面で制度を利用する立場からできるだけわかりやすく説明しました。

制度施行直前に、矢継ぎ早に FAX や会議の席で分厚い書類が配布されました。



介護保険

号数	発行時	タイトル	内 容
41	2000 3/1	制度の概要説明	従来の特別養護老人ホームやデイサービス（通所介護）についてがどのように変化するか。また要介護認定について。 【抜粋：例えば、名称の変化と利用手続きの変化】
			～ 2000 年 3 月
			特別養護老人ホーム 市に申請する 介護老人福祉施設
			デイサービス 年度ごとに市に申請（空きがあれば年度中可） 通所介護
			ショートステイ 2ヶ月前から市が申請を受付 短期入所生活介護
			ホームヘルプサービス 市に申請する 訪問介護
		ケアプランのしくみ	要介護度と居宅サービスの利用上限額とケアプランの関係 例えば、短期入所、訪問介護、訪問看護、通所介護など、サ た単価を月の利用回数で乗じた合計単位数が支給上限額に収 利用料となる（9割は保険給付）。支給上限額をオーバーし 険給付されず、全額利用者負担となる。
42	2000 9/22	利用手続き	第1段階から第4段階に区分して、書類のやりとりを説明。 第1段階：要介護度を決める認定手続き 第2段階：介護度をもとにケアプランをたて、サービスを決 第3段階：サービスを利用するための手続き 第4段階：サービスの利用と支払い、その後の手続き この手続きが繰り返し続いていく（介護度に有効期間がある
43	2000 12/10	ケアマネジャーの仕事	介護保険制度により誕生した介護支援専門員（ケアマネジャー）と 者をつなぐキーマンとして、いろいろな場面にかかわっている。 ケアマネジャーは、所属する事業所によって仕事の内容が異なる。 ①居宅介護支援：ケアプランの作成や介護サービスの調整管理を行 ②支援センター：在宅介護支援センターの相談員として地域の高齢 ③認 定 調 査：市の委託を受けて調査員として認定調査を行う
44	2001 7/10	給付を受ける場所によって 異なる給付額の差	【抜粋】 ※ 2001 年当時
			在宅 要介護 1 16.58 万 要介護 2 19.48 万 要介護 3 26.75 万
			グループホーム 24.60 万 25.09 万 25.58 万
			介護老人福祉施設 24.21 万 25.58 万 26.91 万
			介護療養型医療施設 36.28 万 37.68 万 39.08 万

子育てと仕事の両立を応援しています！

総務省「労働力調査」(平成19年)によると、労働力人口女性は2,763万人(前年比4万人増)で4年連続の増加となったそうです。仕事をしている女性が増えています。子育てと仕事の両立はやさしいことではありません。多摩同僚会では、全国に先駆けて子どものトワイライトステイを創設するなど、子育て支援に努めてきました。今回はその一部をご紹介しますと思います。

(参考：男女共同参画白書 平成20年版)

しゅらふ

ミニルームあいあいー「集まれ！産休、育休ママの会」ー

「ママ友が作りたい」「子育て中のママに色々聞きたい」そんな想いのママ達が出逢い、集い、語り合えるひとときを…と始まったミニルームあいあい。10月に「集まれ！産休、育休ママの会」を開催しました。家事育児の両立、お子さんを預けること等の悩みや心配事について、



がったら素敵ですよ。

復帰を控えたママ同士で気兼ねなくお話してもらったと同時に、気になる保育所情報も提供できればと、府中市保育課地域子育て支援担当の保育士の方々をお招きしました。一人一人の質問にも丁寧に答えてくださり皆さん一応に安心された様子でした。「復帰直後は以前のようにできなくて当然。数年間は回りの方に頭を下げて助けてもらいましょう。」のアドバイスに涙する場面も。帰り際にはママ同士で連絡先を交換する姿も見られました。この会がきっかけとなり働くママたちの繋がりが広がる。

(相談員 松丸 美紀)

しらとりの子育て支援事業ー子育て家庭のよきパートナーを目指してー

しらとりでは、夕方になると「ただいま」の子どもの声が響きます。府中市全域の保育所や学童からお迎えの車に乗り、しらとりに着。ご飯を食べて、残業のお父さんやお母さんの帰りを待ちます。食事は温かいものを手作りで提供し、保育は季節の行事を取り入れる工夫をしています。また、お父さんやお母さんの利便性も考慮し、当日正午までのお申し込みとキャンセルを受け付けています。このトワイライトステイ事業は、平日17時～22時までのお預かりで、10年以上前から行っており、現在は1日15～20人程度の利用があります。

そのほかにも、ショートステイや病後児保育も府中市の委託事業として行っており、共働きやひとり親のご家庭のお父さん、お母さんが安心して働けるように、そしてお子さんが楽しく安心して成長していけるようにお手伝いさせていただきます。

その他、子育てをしていく中で、お困りのことがございまして、情報提供もさせていただいておりますのでお気軽にお問い合わせください。

しらとりはすべての子育て家庭のよきパートナーを目指しています。



(地域支援ワーカー 伊能 春美)

たつち

リフレッシュ保育

リフレッシュ保育では、理由は問わず、月8日以内1日4時間以内でお子さんのお預かりをしています。お母さんの就職活動中、面接などの際にも利用する方もいらっしゃいます。

ファミリースポートセンター

ファミリースポートセンターでは、子育てのお手伝いが必要な依頼会員さんに、お手伝いをしてくださる提供会員さんをご紹介します。

たとえば、依頼会員さんが残業のときに、提供会員さんがお子さんを保育所までお迎えに行き、提供会員さんのお宅で預っていたくともあります。地域の方々のお力で、子育て中のご家族の応援をしています。

(ファミリースポートセンター担当 太田 絢乃)



法人職員のための子育て支援

社会福祉法人多摩同僚会では、次世代育成支援対策推進法に基づき、職員への子育て支援について検討しています。

まずは、子育て支援に関する規程や制度を知ってもらい、その規程や制度を上手に使用していただくことにあります。

また、育児休業からの復職についての不安や悩み、子育て中の悩みについて、職員からの相談に対応できるように努めています。

職員が仕事と家庭生活を両立(ワークライフバランス)しているよう法人も応援したいと考えています。

(白鳥寮施設長 田口 信二)

施設
だよい



年忘れ・
事始め

各施設から

今年初めての便り

が届きました。

緑苑

機関助手も楽しい！

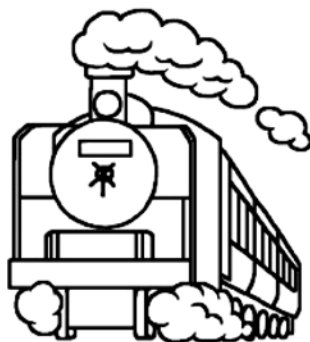
“古い話で申し訳ないけど、あれは今から50年前くらいのこと...”と男性ご利用者Mさんのお話です。北海道の旧国鉄にお務めだったのですが、大晦日には当時の蒸気機関車の清掃で大忙しだったとのこと。

北海道の名寄は最低気温が冬はマイナス30度を超えるそうで、その寒さの中での水を使った掃除です。蒸気機関車ですからボイラーの熱で機関車内は多少の熱がこもり水は凍りませんが、手足の寒さは手袋などをしていても辛くてたまらなかつたそうです。それでも新年はお客様に気持ちよく乗車してもらうために一生懸命だったと懐かしそうにお話になります。

内勤業務であったMさんには少しの喜びもあったそうで、新年を迎え勤務時間を終えた内勤者には、駅舎内で軽く一杯できたんだとこれもまた嬉しそうにお話されます。乗車勤務の者は絶対に一杯飲むなんて出来ないものと。

こうしてお話を聞いている最中にも自分の手をじっと見つめては、もう消えちゃったね。あの頃のアカギレの跡もね”と云うMさんです。

（支援員 田畑 和子）



岩本町

おせち料理の次は？

「おせち料理の次は？」
お正月は食に関する行事が続きます。年越しそば、おせち、お雑煮の次は七草と鏡開きです。岩本町ほほえみプラザでは1月7日は七草粥を、11日は鏡開きとしておしるこをご利用者の皆様に振舞います。

正月7日に七草を食べると邪気を払い、万病を除くといわれています。

この七草粥は古く奈良時代から厄払いの行事食でした。昔、6日の夜に「七草なすな、唐土の鳥が日本の土地に渡らぬ先に」と唱えながら、まな板の上で春の七草をすりこ木や包丁でたたき、門松のとれた7日、この七種の葉をおかゆに炊き込み、一家の健康を祈りました。春の七草すべてご存知ですか？七草とはせり、なすな（ぺんぺん草）、ごぎょう（母子草）、はこべら、仏の座、すずな（無）、すずしろ（大根）です。なすな、ごぎょう、はこべら、仏の座は野草なのでなかなか手に入りにくいと思います。最近では小



松菜や、ほうれん草、京菜（水菜）など手に入りやすい食材で代用して作るのもよいですね。このように行事の由来を知ることには自身の勉強にもなりますし、新しい発見です。おせち料理などのごちそう攻めだった胃腸を七草粥で休ませ、お吸い物やおしるこにして鏡餅を食べて、今年一年も健康で元気に笑い溢れる年になるようにしましょうね!!

（管理栄養士 中津川 景子）

きずな

あのー
すいませーん

「あの一すいませーん、中村（仮名）ですけどー」と2年前の入所時からお話が上手だったSちゃん。いつも用事があると事務所を覗いてはお話したり、施設内保育室の給食の入り口で背伸びして厨房の職員とお話しをしていました。



そのSちゃんも昨年の秋に退所しました。とっても大きく成長し妹のMちゃんにもやさしかったSちゃんの「あの一すいません・・・」が聞けなくなつて寂しい毎日です。

こうした、ほのぼのとした光景や出会いは他の利用者の方にも、職員にとつても心が豊かになりプラスになることが多かったと感じています。

新しい年もまた、色々な母子との出会いと別れがあるでしょう。この一瞬を大切に思い、今出来る温かい支援を続けていこうと思います。

（母子指導員 岩田 昭子）

連雀

年越し蕎麦

ここ、かんだ連雀近くの老舗のお蕎麦屋さん。コート姿のお客さんが行列をつくつています。

今日は大晦日。我らが、かんだ連雀のご利用者は夕食に年越し蕎麦を召し上がります。

明治生まれのK様は「蕎麦のように長く長生きできますように。」とおっしゃると共に蕎麦に向かい一礼をなさっています。

日本の食文化が移り変わる中で、大晦日の夜には蕎麦を啜りながら新しい年を待ちわびる風習は今も昔も変わりません。

「江戸わすらい」といわれた「脚気」の薬として白米の54倍のたんぱく質、ビタミンB1・B2を含む蕎麦を、江戸っ子たちは一日一回食べていたといひます（江戸老舗神田蕎麦乃地図より）。

K様がまた一言。「蕎麦におツユをいっぱい漬けるのは野暮よ、ちよつと漬けるのが江戸っ子なのよ！」と粋な口調が食堂に響きます。普段小食のK様もこの日はかりは、よく召し上がります。

食事後、食べ終った器に一年の感謝を込めて一礼。K様の一礼と共に2008年も終わりを告げ新しい年が始まります。



（介護員 吉村 友成）

たっち

3万人!!

昨年も、毎日たくさんの方々がたっちに遊びに来てくれました。

府中市内からだけではなく全国各地から、そしてパパやママだけではなくおじいちゃんにおばあちゃん、ときにはひいおじいちゃんにひいおばあちゃんとか家族みんなで遊びに来てくれることもあります。

とてもたくさんの方が遊びに来てくれる日には、ひろばに入るための整理券をお配りすることもありました。

それもそのはず!!

4年目を迎えた2008年、たっちの登録者数が3万人を超えました!

3万人もの子どもたちを見守ってきたのが、たっちの人気者の『大きな木』ととりさん。時間になると素敵な歌声を聴かせてくれて、あつという間に子どもたちを笑顔にしてくれる人気者です。

年末の大掃除でピカピカになって、今年もみんなを笑顔にしてくれることでしょう。今年もたくさんのお友だちが遊びに来てくれるのを楽しみにしています。

（交流ひろば担当 山田 恵未）



あさひ苑

年末年始の
過ごし方

ホームのご利用者Nさんの年末年始の過ごし方を教えて頂きました。

年末はおせち作りやお餅つき、雑煮の準備などで忙しかったとのこと。Nさんの雑煮は醤油味でカツオと昆布を使い出汁を作ります。具材は里芋、人参、牛蒡を食べやすい大きさに切り、お餅は固めに煮ます。四〜五日前から準備にとりかかっていたようです。



また、正月飾りの鏡餅は玄關、茶箆筒、居間のテーブル、子どもの机等に置きまします。縁起の良いものはいろんな所に置いた方がよいとの事です。

初詣は赤坂の日枝神社に参拝に。家の近くには有名な明治神宮があるのですが、日枝神社に比べ参道が長く参拝待ちをするのが嫌だったからだとおっしゃっていました。

昨今は、おせち作りや餅つきがあまり一般家庭で行われなくなり、日本の伝統が見られなくなってきたのは少し寂しいですね。

（介護員 開田 圭一）

しらとり

子どもたちの
お正月

「お正月」を知っているかどうか学童の子どもたちに聞いてみたら、「知ってるよ!」と多くの声が返ってきました。

さらに「おせち」を知っているかどうかを聞いたら「伊勢えび!」と小学校五年生の男の子の第一声があがりました。その後も「黒豆」「栗きんとん」「伊達巻」と色々な答えが返ってきました。また、小学校五年生の女の子は「きな粉もちが大好き」とお正月には欠かせないお餅のことをお話ししてくれました。

日々の食事はもちろん大切ですが、思い出となる行事や食事があるというのは子どもたちにとっても嬉しく楽しいことだと思います。

ちなみに幼児さんたちに聞いてみたところ「おせち」は知りませんでした。「お正月」を知っている子が何人かいました。いつの時代もお正月は特別な日なのです。

（母子指導員 川崎 悠子）



泉苑

笑う角には福来る

この時期になると月日の経つ早さに驚かされます。泉苑でも年末は大掃除、正月飾り、おせちの準備とせわしく過ぎていきます。全て準備の整った大晦日の夕食には「長生き」を表すといわれる年越しそばが用意され、除夜の鐘を聞きながらゆく年を惜しみつつ新年を迎えます。

元旦の朝 箏曲「春の海」で和がれる中、おせちとお雑煮を召し上がっていただき新年がスタートです。職員は「お雑煮よ、途中迷わずお進みください」と念じつつ…。

ご利用者山口県出身Tさんより「お笑い講」のことをお聞きしました。最初の笑いは今年の豊作への感謝、2度目は来年の豊作を祈願、3度目は今年の苦しみや悲しみを忘れるため3度笑い合うもの。Tさんのあの穏やかさ若さはやはり笑いの効用かしら?と思わされます。

さあ「笑う角には福来る」です。元気に過ごしましょう。

（看護師 吉田 憲子）



御寄贈ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

秋川幼稚園 いずみこどもプラザ 和泉小ビックバンド 和泉橋一座 株式会社エプロット(株) 資生堂ビューティー 財団法人報知社会福祉事業団 佐藤保信 ジブラルタ生命 スターバックス・コーヒー 田代豊治 手作りおもちゃの会 東穀協会 東京福祉会 国立事業所 東京福祉専門学校 フラメンコペラーノ マナフリリ玲瓏フラダンス マミーズエンジェル 山口久代(福) 東京福祉会 米屋株式会社

(2008年9月~10月)



ボランティアの御協力ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

相川かよこ 藍澤冬羽 藍澤隆治 会田久枝 会田真理 青木成江 青山幸子 明瀬多江子 赤林好子 阿久津紀子 網代恵美 網代弘子 阿倍里美 荒井美子 有本陽子 有本孝典 飯塚喜美子 飯田アヤ子 石井忠男 石井宏 石井美保子 石坂勝世 石原みつる 板場昭 市川アイ子 市川知子 市村正美 伊藤うめ子 伊東富美子 稲葉悦子 井上宏子 井上美香子 井上洋子 井路世津子 今福進 岩佐和栄 遠藤伊代 上田悦子 上野玲子 植松八千代 鶴澤シズ 歌うたんぼの会 内堀美喜 江口亜津子 海老原志づ子 遠藤博遠藤みつよ 遠藤陽子 大久保峯子 大倉弘子 大島庸子 大竹義昭 大橋正子 小笠原千尋 緒方シゲ子 緒方智恵美 岡田基子 岡野玲子 岡本好子 岡裕子 小川喜代子 小川健治 萩野和子 小熊美和子 奥山亜子 奥山チヤ子 小倉富子 小倉道子 尾崎ヨシ子 小沢末子 小野寺みつ子 海江田紀久子 垣内マツ子 柿本純子 角田和歌子 笠間豊子 梶田慶子 鹿島千重子 柏山和子 片桐キミ子 勝倉清子 学校図書館を考える会 カットサロンアベ 門井隆明 加藤静 加藤博子 加藤洋子 金澤富久子 金坂佳子 上沢美和子 上村峰隆 亀岡紀知信 かよこ会 川窪三枝子 川崎綾子 菅田幸枝 木村幸子 琴陽会 久保田茂男 久保田摩耶子 熊倉洋子 グループニコニコ 黒田寿男 黒田伸子 桑原ゆう子 警察学校 弦間まき 小出由美子 小出晨一 小岩井雅人 河野トシヨ 甲野真弓 国府よさこい 小島ユミ子 小島百合子 小菅よし江 小谷文子 後藤寿枝 後藤隆子 小林富美子 小林真弓 紺野和子 今野幸子 齊藤王乃 斎藤孝子 齊藤則子 酒井かつ子 坂井恵子 酒井絃子 酒井和子 佐久間桂子 佐藤英子 佐藤初江 佐藤公子 佐藤妙子 佐藤なかり 佐野秋子 佐野田鶴子 塩入圭子 塩川義雄 塩沢千鶴 塩澤佳津子 重田文子 品田啓子 ジブラルタ生命保険 島田たず 清水文枝 清水功 下江美鈴 下条エイ子 白神早斗子 白坂千恵子 進藤サエ子 進藤理子 杉内和子 杉本節子 杉山政司 鈴木昌子 鈴木嘉子 鈴木好枝 鈴木好子 角田ミサホ 瀬戸貞子 園田英子 園田澄子 高島米子 高鍋恵子 高野晴美 鷹野榮子 高橋幸子 高橋ちよ子 高松宣勝 田口裕香 竹内範子 竹内砂恵子 竹内由美子 竹松ふく 巽信秀 辰本ケイ子 田中毅子 田中久美子 田中幸子 田中淑子 田部美智子 田村綾乃 丹生初江 丹野由紀子 千葉芳子 土田佳子 土屋和子 土屋とき枝 角田友子 手塚正輝 寺迫一枝 戸井田清子 東京VBCN専門学校 東郷實枝子 柄谷さき 富田和代 富永ヒサ子 豊永昌子 中下秀子 中嶋水子 長島広美 中田愛子 永野信子 中村清美 中村フサ子 中村美佐江 中村紀久子 中村美智子 中山照子 中山康 植林美枝子 新津好美 新居洋子 西川照美 西久保長子 西宮智恵子 二宮澄子 根岸路子 野吾孝義 野坂昭弘 野宮昭彦 萩村光恵 萩原昭子 萩原八枝 橋本巖 長谷川宣子 ハッピースマイル 羽島みのる 羽禮子 早川洋子 林比典子 羽山直子 原田康子 日向野芳子 樋口雅子 肥後住江 尾藤智子 平泉順子 平澤みどり 平田敦子 平野幸子 廣池利邦 広江さく江 廣田早苗 藤田和子 船岡栄子 堀田武三郎 ボディーションョップ 堀切重明 前田宗治 牧内ヤス子 町田知行 町やっこ 松井万里 松浦良枝 松沢通子 松下朋子 松下朋子 松澤アイ 三坂和子 水谷静枝 三輪孝子 宮崎清子 宮澤由紀枝 宮下美智子 明神淑恵 村野豊子 室伏きょう子 望月友子 森田淳子 森田正彰 森満隆文 谷貝祥子 八木かつ子 安木節保存会 山上涼子 山田佳津江子 山田ケイ子 山田サワ子 山田順子 山田一丸 山田和男 山本峯子 横田公子 横田丁一 よさこい広場 吉川孝一 吉田隆子 米山秀子 我妻文子 若松リコーダー 脇山令子 渡辺勇 渡辺勝征 渡辺キク 渡辺たき子 渡辺守 渡辺秀雄 渡邊弘子

(2008年9月~10月)

編集後記

■新しい年がスタートしました。皆様にとって良い1年になりますように☆
紫野久子(ぎずな)
■2009年暮明けです!みなさんにとって、楽しいこと多い、素敵な年になりますように!!
浦上さわ(ぎずな)
■今年こそは、文章力を鍛えま
す!!
原田美由紀(しらとり)

訃報

2008年11月3日 府中市立あさひ苑新居千秋施設長が急逝されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。
故新居施設長は法人に入職し、27年間 高齢者福祉に情熱を傾け、2008年4月に施設長に就任したばかり、まだ50歳という若さでした。いっお会いしても優しく声をかけてくれた笑顔を忘れることはできません。
新居施設長の志を引き継いで、職員一同、地域福祉の向上に努めてまいります。
なお、11月28日には、府中市長より府中市保健福祉功労賞(感謝状)が贈られました。



2008年9月敬老の日にて

■今回は初めて1ページを担当し緊張しました。今後ともよろしく願います。
太田純乃(たつち)
■初めての編集でしたが、この1年も皆様に楽しんでいただけたような記事を書いたと思います!
中津川景子
(岩本町ほほえみプラザ)
■食欲の秋はいつまで続くのでしょうか。これからの季節も楽しみです。
黒部雅之(泉苑)

■今年の目標は幅広い層の方に読んで頂く事!積極的にしんあいの輪を広げていきたいです。
友利幸江(連雀)
■今回は施設だよりを担当しました。秋からお正月気分になつてしまひ、栗きんとんやお雑煮が恋しい2ヶ月間でした。
佐藤真紀(泉苑)
■年末年始の過ごし方も出身地によって違いがあり、興味深かったです。
大沢清佳(緑苑)

■今年も法人での活動を、たくさんの人にお伝えできるよう頑張つて行きたいと思ひます。浅見達也(あさひ苑)
■いよいよ寒さも本番ですね。私はしょうが湯を飲んで体を温めています。
福井亜希子(あさひ苑)

■2008年は夏から冬に一足跳びでした。2009年は落ち着いた年になりますように。
青木志乃(事務局)
■昨年から続く世界的な景気下降で、今年はどんな年になつていくのかがとても心配です。介護保険制度改正の年でもあり、気を引き締めて行きたいと思ひます。
2009年も季刊しんあいをよろしく願ひいたします。
上野廣美(編集長)

特別養護老人ホームかんだ連雀
かんだ連雀高齢者在宅サービスセンター
千代田区立岩本町ほほえみプラザ
子ども家庭支援センターしらとり
母子生活支援施設白鳥寮
母子生活支援施設東京都網代ホームきずな



特別養護老人ホーム信愛泉苑
高齢者在宅サービスセンター泉苑ケアセンター
養護老人ホーム信愛寮
特別養護老人ホーム信愛緑苑
府中市立特別養護老人ホームあさひ苑
府中市立あさひ苑高齢者在宅サービスセンター
府中市子ども家庭支援センターたち